

ほぼ見受けられ、又自家用車を所持してる家がほとんどです。当時来た時には、アスファルトの道はなく、埃まみれ、携帯、自家用車を持っている人は極一部の人達でした。自家用車を持つてる人は、送迎としてアルバイト、携帯を持つてる人は、1分単位で商売が成り立ってる頃ですので、この変化には驚きました。このスピード感をはるかに日本を超えている様でした。

この度は、レンタカーを借りて行動をしまし、地図を見ながら向かいました。

久しぶりにお会いして、相変わらず優しく迎え入れてくれました。この村の村長さんとか、警察の方とか、大勢の方々が歓迎してくれて嬉しかったです。土産にお菓子やお酒、中でも、日本酒がとても美味しいらしく、飲み方は、グラスに注いだお酒は一気に飲み干す飲み方で、四合瓶4本をあっという間に飲み干すほどです。

言葉の壁はあるのですが、若い人は英語を少し、小学生では中国語は科目になっているみたいで、ある程度は意思が伝わってそんなに苦にならない感じでした。

2日ほどまた泊めてもらい、RCがあればと思い、メイクに行ってみようと、これまで自分のクラブ以外行った事がなかったのですが、100%出席の事を思うとやるしか無いと思いました。

この村の人にRCの事を話しましたが、伝わらなく、取り敢えず銀行に行ってみようと思いましたが、お金持ちの方が多いいのでは、と思って、バンコク銀行に行ってみました。そこで、日本語が話せる方がいて、RCの事を話した所、知っているらしく会長さんに連絡をしてくれまして、本日の夕方6時に集まるといふ、場所も聞いて、「行きます」

会場が、オープンカフェでした。初めてのメイク「挨拶がわりに1曲」「スキヤキ」を生オケで歌いました。タイではカラオケが流行、日本の演歌をタイ語で歌う人が多いみたいです。「スキヤキ」も知っておりタイ語で私に合わせて歌ってくれたのは良かったが、2番、3番と歌詞を知らないがそこが外国です。1番を繰り返し歌い続けました。意外に盛り上がり、いい挨拶になったのかなと思いました。

「次期会長になります」と話すと1人の会員が「ネクストプレジデント」と写真を取るのので握手してと、その人はホテル経営者で、肩掛けバックと記念誌とガバナー月信を持って来てくれました。

そのクラブは、2558地区のチェンコンRCで、2013年にできて2年目のクラブと聞いた驚きました。男女半々の人数で普段着で堅苦しくなく、ローターとは感じられなかったのですが、例会プログラムは、真剣にIMの話をしている様でした。

次週例会はイサーンに奉仕活動に行く予定になっているらしく、私にも時間があれば参加如何ですか?の様な感じで、その時間は想定外でしたのでお断りしましたが今日のことを月信に載せる様です。

時期会長さんからその後食事に誘われ、そのまま自分のホテルに泊まると、言われ2泊して次の日は、ホテルに会員が集まってきて楽しい交流会をしてくれました。

来週山岳民族で生活する子供達に本、ノート、とかをプレゼントするらしい。日本のRCも学校を建設したり、本を提供した事を話してくれました。

素晴らしい活動をしていることが、誇らしく感じて、改めてRCの素晴らしさを知ることとなりました。

冒険・挑戦これが無くなったら老いるだけ。新しい友に会いましょう!

「サディーカップ」です。

《事務局からのお知らせ》

<5~6月の予定>

- ・5月2日 休 会
- ・5月9日 会員卓話 西方 茂太 君
- ・5月16日 (株) アイデア
代表取締役 鈴木芳之 氏
- ・5月23日 米沢高等技能専門学校
理事長・校長 佐藤洋行 氏
- ・5月30日 休 会
- ・6月1日 第6グループ IM (長井)
- ・6月6日 福祉施設寄付贈呈
はとみね荘 施設長 島崎慎一 氏
- ・6月13日 クラブ協議会
- ・6月20~21日
<最終例会>
- ・6月27日 休 会

Rotary  Rotary International District 2800
2023~2024
TAKAHATA ROTARY CLUB

4月18日

WEEKLY REPORT  世界に希望を生み出そう

会長 鈴木 司郎 幹事 高橋 雅明 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島 911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

本日の例会 [2689 th] 2024.4.18

移動例会 観桜会

於：錦爛酒造株式会社

前回の例会 [2688 th] 2024.4.11

株式会社 ニシカワ

代表取締役 **菅野 章裕 氏**
(西川RC)

- ・点鐘12時30分 鈴木 司郎 会長
- ・ロータリーソング 四つのテスト
我等の生業
- ・ソングリーダー 梅津 陽一郎 君
- ・S A A 大浦 英樹 君

会長あいさつ

鈴木 司郎 会長

みなさんこんにちは。
まず初めに本日のゲストスピーカーをご紹介します。

「有限会社ニシカワ 代表取締役 菅野章裕」氏です。西川月山ロータリークラブに所属していらっしゃいます。後ほどご講話をお願いいたします。

さて桜も今週末が満開を迎え、気温も上昇し本格的な春の訪れとなります。

ガバナー月信の4月号に、今年度から国際ロータリーにおける学びの手法を「研修(トレーニング)モデルからラーニングモデル」と方針を変更したとの記事が載っていました。単に呼び方が変わったということではなく、研修(トレーニング)は訓練をすることであり、上下関係を意識させるものであり、これに対して、ラーニングというのは結果を求める学びという意味であり、平行関係を意識させます。同様の発想から、従来トレーナーやリーダーといった立場の方はファシリテーターと呼ばれることとなりました。ファシリテーターとは「易しくすること」という意味であり、要するにみんなにわかりやすく手助けを、ということだそうです。国際ロータリークラブの語録には沢山の英語が翻訳されて使われております、覚えるにも、そしてその意味もなかなか理解できないこと

が多々あります。先ほど述べたファシリテーター「易しくして、みんなにわかりやすくする」その意味がすぐには理解できないのは自分の勉強不足かもしれません。

皆さんもお分かりになったでしょうか?それではお食事をお取りください。

スマイルBOX

- 結婚祝い **大河原 章君**
- ・1月に風邪をひいて医者に行ったらコロナ系の肺炎になりかけているとのことで、置総に2週間入院してました。完治しましたのでロータリーにも復帰します。
長谷川平内君
 - ・西川月山RCより来訪していただきました。名古屋にいる孫が1年生になり、次女の子供も1年生になりました。
皆川 賢治君

《出席報告》

会員数 47名 出席者数 20名 出席率 42.55 %
前回修正47名 出席者数 36名 出席率 76.60 %

《メイクアップ》

鈴木征治 君・大浦英祐 君・桑島周士 君・高梨正章 君
大河原章 君・加藤由香里君・後藤隆暢 君

次回の例会 [2690 th] 2024.4.25

高島町文化財保護会

会長 **島津 憲一 氏**

次々回の例会 [2691 th] 2024.5.9

会員卓話 西方 茂太 君



次に料理が来たので食べてみる。辛い食べ物でした。そばにいた5~6人のタイ人が、

笑いながら、タイでは、テーブルの上に4つの調味料があって、個々に好みの味付けをして食べるようだ。が、どのぐらいの分量すら想像出来ない様子を見て料理が2つ揃って、親切に隣のタイ人が味付けしてくれたのだが、私には「とても辛い」食べ物でした。彼ら達が食べているエビフライの様な天ぷらしてくれた、甘くてとても日本人好みの味でした。追加で同じものを頼んで食べながら、ビールを飲んでいましたが、途中から、ウイスキーを飲んだりしていると、私に「ちんか」と聞いて来た。迷わず男なので「Yesちん」と答えると笑っている?飲み過ぎた様で寝てしまった。

朝、目が覚めて気付いたら目がくすんで、驚いたのですが「かや」で、布団に寝ていました。一瞬青ざめましたが、バックも財布もパスポートもそのまま、枕元にありました。カヤから出て部屋を出て家の中を歩いていくと高床式の家でした。10人ぐらいの人が一斉に俺を見て「ワディワディ」と言うんです。私は「おはようございます」と言うと面白半分「おじゃじゃじゃ、おじゃじゃじゃ」と何度も言う。もう一度「おはよう」と言うと笑いながら何人か「おはよ」と返してくれました。

下におり「ありがとう」と言うと「アガと」「味の素」と何を言ってるのか、水が飲みたくてジェスチャで手で口に持ってくと「OK」と向かいの店でビールを買って来た。まさか、本当でした。勿論飲みました。冷たいビールで助かりました。ご飯と目玉焼き鳥肉を用意してくれましたが、ご飯は、「餅米」でした。見本で食べ方を教えてくれるのですが、手で食べるのが初め抵抗があり、笑って誤魔化しているとお婆さん達が心配して餅米を、手でちょっと握りながら鶏肉と一緒に食べるらしい。それを親切に渡され、しょうがないので食べました。ところが「うまい」これを機に自分でバクバク食べるとたくさんの

「サワディーカップ」

皆川さんとの出会い

2019年の山形県対友好協会、「タイ・チェンマイに山形の桜を植える」ミッションで、知り合いました。

「サワディーカップ」という言葉、ご存知でしょうか？

20代の時の話になります。

仕事も落ち着いた頃、NHKで世界の旅番組を見てみると、旅がしたい!

2日後当てもなく、成田空港に行きました。

その日は20日の日だったので、出発掲示板を眺め20番目のチケットを買い数時間後に乗り込みました。行き先がバンコク行きです。

ですが、私は、英会話は全くダメです。

「YES.ThankYou.OK」くらいです。

バンコクに約5時間位で到着です。困った事がありました。入国審査です。

当時は明確に何をしに来たのか、どこに滞在するのかを、確認なのですが、

英語がわからず、あたふた状態で困りました。

次は、国内線に乗れるのであれば、成田空港のように、今度はツキがあれば7番目の航空機、掲示板に書いてあるローマ字をカウンターで言うと、そこで意外に簡単に購入できた。

2時間くらいしてその航空機になりました。チェンライと言う所です。

タクシーに乗って街に行こうと思いましたが。英語は通じませんでした。当時ほとんどのタクシーの運転手は、タイ語しか話せない人が大半らしいです。中には、「英語、中国語」が話せる人はたまにいるらしい。

ジェスチャーでお腹を抑え手を口に持っていくと、伝わるんです。「バンコク共通」です。

到着した店が奥が広く川の見えるところです。

タクシーを降りたら、女性が「ワディカ」笑顔で挨拶です。テーブルまで案内、座って直ぐに、注文書ぴらぴらしたメニュー表、でも写真が載ってるので助かりました。「ビール」発音が良いのか伝わった。何を食べたらいいいのか未知でしたが、指差して2つ試しに注文した。

グラスに氷を入れてビールを飲む、意外に飲みやすい。

「サワディーカップ」

住民が寄って来て色々聞いてくるが、俺には何を言ってるかわからない。取り敢えず食べた。

30人くらい周りにいた様な気がした。我慢していたトイレを聞いた、また悩んだ、大きい方じゃないので良いのですが、如何するのだろう

すっきりした所で、冷静になり、俺は何をしているのか、まず、自分のいるところが知りたいが、知るすべがない。お屋前になってジープの様な車が来て、指を差すので街に連れていてくれるのだろうと、思って部屋に荷物を取りに行ったら、そのままの感じで、それに従って戻ると、今度はジープに乗ってどこかへ連れて行く様だ。流石に不安になったが、全然知らない他人の俺を心配しないのか、そう考えると余計に不安が増た。

小さい車に多分5人乗りの車だと思のですが10人乗った、後で気づいたが、もう1台には20人くらい乗っていた。1時間以上走ったと思います。パヤオという観光地です。

到着して寺院に行き線香をあげお祈りしたり、私に鳥籠に入ってる鳥を放したり、公園を見たりして、オープンカフェ的な店で餅米を持って来たみたいで、豚焼きとか茶碗に生きた小エビと一味とパクチー、ネギ、ニンニクその他で混ぜて食べる「クンテン」という食べ物

軽くお酒を飲んだりした昼食、少し歩いてるとタイの地図があった、今いる場所、空港と自宅を教えてもらって、驚いたのが昨日タクシー降りたレストランから止めてもらった家までの距離が、約200キロくらいあったのだ、やっと居場所がわかったので、地図を買いその日も、その家に泊まる事となり、家に着くと、また、たくさんの人が集まっていた。親戚でも、知り合いでもないのになぜ?と思いつつも、甘えました。

結局2日泊めて頂き、次の日空港まで乗せて行ってもらい、バンコク行きのチケットまで手続きしてもらい、夕方の便でバンコクへ行きました。別れ間際になって、住所、名前、電話番号を書いた手紙をもらった。飛行機に乗って考えていると、とにかく人懐っこくて、冗談が好きで、笑いが絶えない、少し懐かしさを感じられた。2日間でしたが少し覚えた単語がありました。日本語に似た言葉があります。

「綺麗」は「醜い」「関係ない」は「パンツ」

「階段」は「カンダイ」だったりとその他も沢山ありました。

1時間くらいでバンコクについて、国内線の出口に、私の名前を書いたボードを持って人が?ずっと見てるのでやっぱり俺だな。手を振って「来てください」と日本語でした。

何故と思ったのだが「こんにちとはと自己紹介をしてくれた」と日本語を話すので、どうして私に会いに来たのか聞いてみたら、「その子は仕事でバンコクに来ているらしい。昨日一昨日と泊めてもらった所の息子さんでした。」日本に6ヶ月いたらしい。ホテルに泊まってもらう事にして、色々話をした。

一昨日泊めてくれた理由は、飲みつぶれてしまったので、途中から日本人とわかっていたらしく、以前息子が日本でお世話になっていた事があることから、そのままに出来ないと連れて来たらしい。飛行機に乗る前に渡された住所、名前、電話番号など英語に直してもらって、世話になった人の名前初めて教えてもらった。向こうで読んでいる名前はニックネームの様な呼び名で、本当の名前が書かれていたので、納得した。

一番初め飲食店で「ちんか」の意味 これは「中国人ですか?」という意味でした。

因みに日本人は「ジープン」です。また、「ワディー」は「サワディーカップ」の略で、おはよう、こんにち、こんばんは、など人に会ったときに使う挨拶です。素晴らしい!

こんな出会いってあるのだなーと、感激でした。2日後自宅に戻った。

それから約16~7年後縁があって、西川月山ロータリークラブにお誘いがあって入会する事になりました。RCのお陰で、沢山のロータリアンに普段の生活ではお会いする事のない、様々な職業分類の会員の皆さんにお会いできる事に感謝してます。RC入会して3年目になり、次年度会長をする事になりました。もちろん返事は「Yes」

当時、クラブでは例会出席を100%の目標になっており、都合をつけ出席しておりました。

47歳のときにある事がきっかけで、タイに行く用事ができました。以前お世話になったお宅に向かう事にしました。連絡はしてあります。私も変わりましたが、町も、人も物凄い活気のある国に変わった様に感じました。1つには、日本人がとても多い、又、携帯電話を持ってる人(学生小中生)がほぼ